



西元和代

一般質問

問 須崎半紙の伝承を

答 何いかの対応で行つ

西元

津野町の伝統、須崎半紙
は県の無形保護文化財の一

つである。現在2学校が手
漉き和紙での卒業証書作り
をおこなっているが、津野

また現在、町内最後の生
産者も現役を退かれた。こ
の伝統を閉ざしてしまわ
ないよう町として残すべく取
り組みはできないか。

川上教育長

重要なことである。一日
先生のように地域の方を招
いて話を聞くこともできる。

卒業証書については学校長

にも話し、来年からできれ
ば3校が生産や加工、歴史
的背景も学ぶよう充実させ
たい。

池田町長

人材にかかる。人
づくりにも積極的に取り組
まなければと思う。町内在
住の人には限らず何らかの対
応の中で伝承していく。



和紙を漉く馬関、山崎さん

西元

食育の成果は少しづつ現
れていくと思うが、朝の忙
しい中でのお弁当づくりが
負担になっている家庭もあ
る。お弁当持参の行事があ
る月は食育の日のお弁当を
休みにしてはとの声もある
が、今後の取り組みは、
また、食育は大切だと思
うが学校だけでは決してで
きない。同じ方向に向かう
ためにも食育推進計画を保
護者の集まる機会に配布し、

川上教育長

何のためにどんな取り組み
をするのかを共に学ぶべき
ではないか。

始めた間もないで状況
を見、保護者の意見も聴き
ながら次のステップに向け
て検討する。食育推進計画
は作つただけで家庭に十分
周知していかなかった。家庭
と共に子ども達を伸ばして
いきたい。

問 食育の今後は

答 家庭と共に伸ばしていく